

■平成25年9月5日（木）

病院を核としたまちづくり推進特別委員会 県内調査

◎新県立奈良病院建設予定地（奈良市石木町・七条西町2丁目）

＜近鉄西ノ京駅からのアクセス＞

ア 調査目的

近鉄西ノ京駅から新県立奈良病院へのアクセス道路の現状と課題、現在取り組んでいる対策について調査すること。

イ 調査概要

近鉄西ノ京駅周辺の六条地区等の奈良市道は、通学生徒等の歩行者や自転車が多いにも関わらず、道路の幅員が極端に狭い。住宅密集地であるため道路拡幅が困難であるという難しい交通問題も抱えているため、通学路の安全対策も含め、歩行者及び自転車利用者の安全を確保するための取組を、地域デザイン推進課から説明を受け、現地を調査した。

①近鉄西ノ京駅周辺

＜現状と課題＞

- ・朝夕1,000人以上の通学生徒等の歩行者や自転車、自動車の通行が多いにも関わらず、道路の幅員が狭い地域である。
- ・駅前広場も狭く、バス停が確保されておらず、電車とバスの乗り継ぎが困難な地域である。

＜対策＞

- ・西ノ京駅前については、東側に小さな駅前広場があるが、バス停が確保されていないため、駅周辺で安全に電車からバスに乗り換えてもらえる環境を整える。

②西の京・六条周辺

＜現状と課題＞

- ・道路の幅員が狭く、交通量も多く、住宅密集地である。

＜対策＞

- ・奈良市でバイパス道路の西の京・六条線を整備中であり、用地は8割程度買収済みである。

③六条3丁目交差点

＜現状と課題＞

- ・形状が悪く歩道も確保されておらず、危険な状況である。

＜対策＞

- ・交差点の改良、直進道路の整備、右折レーンの設置、歩道の設置などを計画している。

④六条3丁目交差点から北向き

＜現状と課題＞

- ・道路、河川とも狭い状況である。

＜対策＞

- ・平成25年度から河川、道路の拡幅工事に着手している。

⑤六条3丁目交差点から西側道路

＜現状と課題＞

- ・道路幅は7m程度と比較的広いが、歩行者と自動車が混在している。

＜対策＞

- ・ラバーコーンを置くなどして、歩行者と自動車との分離を図る。

⑥奈良医療センターから新県立奈良病院へのアクセス道路

＜現状と課題＞

- ・道路幅員が狭い状況である。

＜対策＞

- ・奈良医療センターに土地を協力いただいて、道路を広げる。

◎今後、地元役員、水利組合、河川管理者、県警等と協議を行ったうえで対策をとりまとめ、安全性の確保が図られる予定。

＜新県立奈良病院の一次造成工事＞

ア 調査目的

新県立奈良病院一次造成工事の計画と進捗状況について調査すること。

イ 調査概要

新県立奈良病院への進入路工事と造成工事について、新奈良病院建設室から説明を受け、現地を調査した。

○進入路等について

- ・メインの進入路は、主要地方道枚方大和郡山線からとなる。
工事用車両は、全て主要地方道枚方大和郡山線のある西側から入ることにし、団地内の通り抜けはできないようにする。
- ・都市計画道路石木城線は、大和郡山方面からのアクセス道路となる。
- ・一般の方々にも利用していただける歩行者・自転車専用区間を東側につくり、六条山の自然にふれていただく。

○造成工事の考え方

- ・平成25年度に造成工事に着手し、山を切る量と盛る量のバランスを考え、土を持ち出さなくてもよい工事をする予定。

